

まめーる (北陸産大豆振興協議会メルマガ第10号)

平成21年9月発行

発行者：北陸産大豆振興協議会事務局 北陸農政局生産経営流通部農産課豆類振興係
TEL076-263-2161(内線3318) 076-232-4302(直通)

1. 平成21年度北陸ブロック大豆現地検討会を開催します！

北陸産大豆振興協議会では、大豆300A技術などの新技術の普及を目的として、「北陸ブロック大豆現地検討会」を開催します。

本検討会では、耕うん同時畝立て密植栽培技術などの新技術についての講演のほか、ほ場視察も計画しています。

参加費は無料です。大豆に関心のある方であればどなたでも参加できますので、奮ってご参加いただきますようご案内いたします。

日時

平成21年9月28日(月) 13:00～16:00

場所

(検討会) 大沢野ウェルネスリゾートウィンディ 会議室
(富山県富山市春日96-1 TEL 076-468-3333)

(現地視察) 富山県富山市東大久保 試験圃場 小雨決行

内容

(検討会) 13:00～14:45

(1) 大豆の安定生産と土壌水分管理について

中央農業総合研究センター大豆生産安定研究チーム長 島田 信二氏

(2) 耕うん同時畝立て密植栽培技術について

中央農業総合研究センター北陸水田輪作研究チーム長 細川 寿氏

(3) 田畑輪換体系に伴う窒素肥沃度の低下について

中央農業総合研究センター北陸水田輪作研究チーム主任研究員 大野 智史氏

(現地視察) 15:10～16:00

(1) 耕うん同時畝立て密植栽培技術実証圃場(品種:「エンレイ」「東山213号」)

(2) 不耕起密植栽培技術実証圃場(品種:「エンレイ」)

参加申込

参加申込書(<http://www.maff.go.jp/hokuriku/seisan/daizu/pdf/sanka.pdf>)により、9月15日(火)までに、北陸農政局農産課豆類振興係あてにFAXまたはメールでお申し込み願います。

2. 「亀甲（かぶと）じわ」の防止には早めの収穫が有効です！

21年産大豆の収穫期まで約1か月となりました。

近年、北陸産大豆の上位等級比率は、全国平均に比べ大きく低迷しており、格落ち原因の多くがしわ粒によるものとなっています。（平成18年産大豆3等に格付けされた原因別比率 北陸84%、全国20%）

このしわ粒の発生の仕組みと対策技術について、北陸研究センターなど北陸地域の研究機関が共同で研究を行い、その成果をパンフレットに取りまとめています。

特に、しわ粒の1つである「亀甲（かぶと）じわ」の発生には収穫時期が深く関わっており、この防止のためにはこれまで収穫適期とされてきた子実水分20%よりも早い、22%の時期から速やかに収穫を行うことが有効となります。

パンフレットは無料で配付しておりますので、ご希望がございましたら、北陸農政局農産課までお問い合わせください。

なお、パンフレットは北陸研究センターホームページにも掲載されています。

（北陸研究センターHPアドレス）<http://narc.naro.affrc.go.jp/inada/soybean/soybean-pam.pdf>

3. 10月2日と毎月12日は「豆腐の日」です！

豆腐は、原料大豆を砕いて加熱し、搾った豆乳をほとんど全部凝固させたものなので、搾りかすのオカラに残ったもの以外大豆の成分はほとんど豆腐に移行します。また、この加工過程を経ることで、消化吸収がよくなります。つまり、大豆の栄養はそのままで、消化吸収しやすいかたちにしたものが豆腐と言えます。

「とう（10）ふ（2）」の語呂合わせから、10月2日と毎月12日は豆腐の日です。豆腐を食べて夏の疲れから回復しましょう！！

大豆の機能性成分と主な効果

成分等	提唱されている効果
タンパク質（ペプチド）	血中コレステロール低下作用、血圧上昇抑制、抗酸化作用、肥満防止
脂質	善玉コレステロールの増加、脂質代謝の改善、記憶力・集中力の増加
糖質	ビフィズス菌増殖作用、胃の粘膜保護

イソフラボン	細胞のがん化を抑制、がん細胞の増殖を抑制、骨粗鬆症の緩和、更年期障害の緩和
食物繊維	整腸作用、大腸がんの抑制
ビタミン	成長促進作用、抗酸化作用
カルシウム	骨粗鬆症の緩和
サポニン	抗酸化作用、がん増殖抑制
トリプシンインヒビター	糖尿病の予防
フィチン酸	がん抑制効果
アントシアニン（黒大豆）	抗酸化作用

（資料）農林水産省ホームページ（http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/daizu/d_kenko/index.html）より